

「ワーク・ライフ・バランス推進企業」 知事賞にフェアリー・テイル

働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を顕彰する「ワーク・ライフ・バランス推進企業表彰」の表彰式が9日、県庁であり、知事賞に選ばれたブライタルプロデュース業などを展開する「フェアリー・テイル」(高松市)に表彰状を贈った。女性が活躍できる環境づくりを推進している企業に贈る「かわ女性キラサポ大賞」の表彰式も併せて行われ、事務用機器の販売などを行う「富士ゼロックス四国」(同市)が受賞した。

同表彰は長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進など、誰もが働きやすい環境整備につなげようと、2012年度から毎年実施。同大賞は、就労を希望する女性が能力を発揮できる環境づくりをサポートする企業を表彰するもので、15年度に創設した。フェアリー・テイルは1カ月単位の変形労働時間制度や本人希望のシフト制度を設け、各自の業務に応じて労働時間を調整することで残業時間の削減につな



表彰状を受け取ったフェアリー・テイルの藤田社長(左)と富士ゼロックス四国の近藤社長(右)＝県庁

女性キラサポ大賞 富士ゼロックス四国に

ている。また、ワークシェア表を作成し、スタッフ全員の業務状況を「見える化」するといった業務効率を改善するための取り組みなどが評価された。

富士ゼロックス四国は子の看護休暇制度や家族介護休暇制度などの育児や介護に関する休暇制度だけでなく、積立有給休暇や永年勤続休暇など独自の休暇制度を整備。働く女性のキャリアアップについてのレディース・フォーラムや新しい働き方を考える女性交流会などを通じた女性活躍の推進などが評価された。

表彰式では、浜田知事がフェアリー・テイルの藤田徳子社長、富士ゼロックス四国の近藤智彦社長に表彰状をそれぞれ手渡した。